

かわじま 議会だより

No.
147



楽しく、元気に、^{けんこう}健康に（ハッピー体操／中山・ハツ保公民館）

Contents

9月定例会概要	2～6
委員会の動き（9月定例会）	7・8
各議員の賛否	9
町の考えを問う（町政一般質問）	10～14
所管事務調査報告	15
川越地区消防組合議会報告ほか	16
議会活動レポート	17
4つの「～」みようほか	18



川島町議会の
ページはこちら

令和6年11月1日発行
埼玉県川島町議会

9月
定例会

令和5年度各会計決算、 一般会計補正予算などを 可決・認定

令和6年第4回川島町議会定例会を、9月4日から19日までの会期16日間の日程で開きました。

定例会では、報告4件が行われたほか、専決処分の承認や条例の一部・全部改正、組合の設立・規約の改正、一般会計補正予算（第3号）ほか各会計の補正予算、また、令和5年度各会計の歳入歳出決算認定、債権の放棄、財産の取得など、25議案を審議しました。そのほか、教育委員会教育長・教育委員会委員の任命、人権擁護委員の推薦を審議し、採決の結果、全ての議案を原案どおり、可決、認定、同意、承認しました（各議案に対する、議員の賛否は9ページをご覧ください）。



〈議案第49号〉川島桶川資源循環組合の設立について

トピックス 1

9月定例会
令和7年4月1日に川島桶川資源循環組合が設立されます

川島町と桶川市のごみ広域処理施設の整備、施設稼働後の管理運営及びこれに附帯する事務を共同処理するため、川島桶川資源循環組合の設立に必要な規約を議決しました。これにより、地方自治法に定める一部事務組合の「川島桶川資源循環組合」が令和7年4月1日に設立されます。

これまでの経緯

令和元年12月 埼玉中部資源循環組合の解散及び財産処分について
構成市町村の議会で議決
令和2年3月 埼玉中部資源循環組合が解散
令和3年9月 町議会でごみ処理施設建設に関する特別委員会を設置
令和4年8月 ごみ処理施設建設候補地の選定
令和5年4月 川島町・桶川市ごみ処理広域化協議会を設置
令和6年5月 ごみ処理基本計画・新ごみ処理施設整備基本構想を策定
令和6年9月 川島桶川資源循環組合の設立に関する協議書を締結

今後のスケジュール（案）

- 令和7年度～ 施設整備基本計画
 - 令和7年度～ 測量・地質調査
 - 令和8年度～ 事業者選定
 - 令和10年度～ 施設的设计・建設
 - 令和15年度～ 施設稼働
- ※新ごみ処理施設整備基本構想から抜粋。
※町民の皆さんからご意見を伺う予定です。



9月30日に行われた協議書の締結式

〈議案第51号〉令和6年度川島町一般会計補正予算（第3号）

9月例会

トピックス 2

中学3年生と高校3年生にインフルエンザ 予防接種費用の一部が助成されます

町内に住む中学3年生と高校3年生の年齢に相当する方を対象に、入学試験や就職試験に万全の態勢で臨んでもらおうと、季節性インフルエンザワクチン接種費用の一部が助成され、実費負担額の軽減が図られます。

主な質問は次のとおり

Q 受験生の支援ということで中学3年生と高校3年生が対象とのことだが、近年では中学受験をする小学6年生も増えている。小学6年生を対象に含める考えは。

A 受験生を対象としたインフルエンザ予防接種費用の助成事業ですが、今回に関しては、人数の多い中学3年生、高校3年生を対象としました。中学受験に取り組む小学6年生は少ないことから、現時点では対象に含める考えはありません。



川島町中学3年生・高校3年生インフルエンザ予防接種助成事業の概要

対 象 者	町内に住民登録がある中学3年生・高校3年生の年齢相当者
助 成 額	上限4,500円（一人につき年度内1回まで）
接 種 期 間	令和6年10月1日（火）～令和7年1月31日（金）
申 請 方 法	①接種後、費用を支払って領収書をもらう ↓ ②必要書類（領収書、通帳など）をそろえて、町に申請 ↓ ③町から指定口座へ助成金を支給
申 請 先	子育て支援課
申 請 期 限	令和7年3月31日（月）

〈議案第51号〉令和6年度川島町一般会計補正予算（第3号）

9月例会

トピックス 3

川島町環境センターごみ処理施設の中央 監視制御装置が2か年で更新されます

ごみ処理施設の司令塔ともいえる、中央監視制御装置は、平成14年度のリニューアルから更新されておらず、老朽化が著しいため、令和6年度・7年度の2か年事業で、装置が更新されます。

主な質問は次のとおり

Q 今回、2か年の事業で、債務負担行為を設定しているが、どういう理由か。

A ごみ処理施設の中央監視制御装置は、施設を統合制御している司令塔のようなものです。平成14年のリニューアル以後、手つかずの状態で、いつ止まってもおかしくない状況です。

以前からプラントメーカーと調整していましたが、金額面等で折り合いがつかせませんでした。ここで、新ごみ処理施設の稼働時期が固まってきたこと、また、別の事業者から限度額で更新できる旨の提案をもらったことから、今回、修繕する判断をし、予算計上したものです。

しかしながら、事業は一年で完了するものではないので、今回、債務負担行為を設定し、令和8年3月に

完了する予定です。新ごみ処理施設稼働までの約8年を運転させるためには必要不可欠な修繕かと考えています。

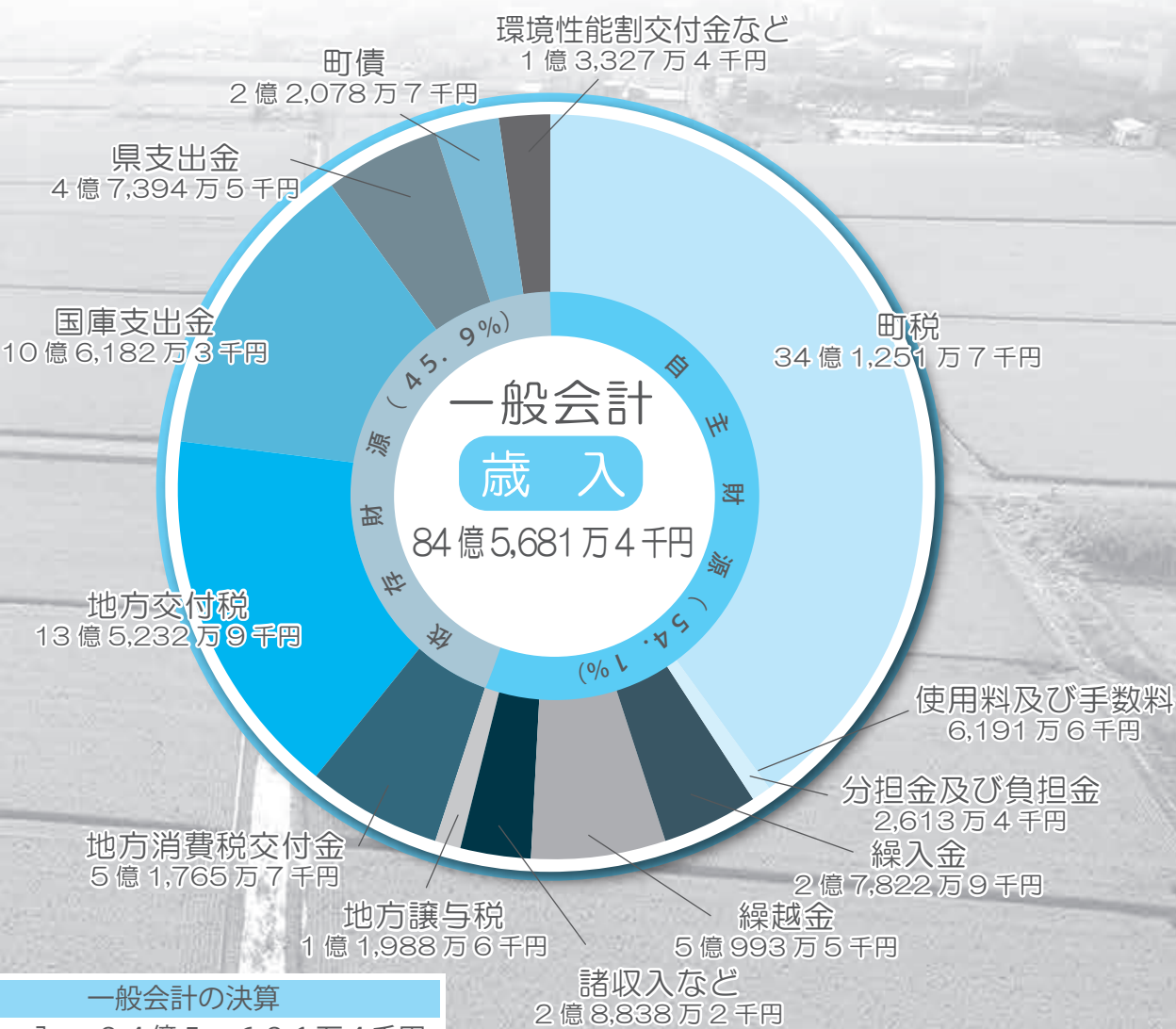
※債務負担行為とは？
一つの事業や事務がその年度で終わらず、後の年度でも支出しなければならぬ場合に、あらかじめ後の年度の債務を予算で決めておくもの。

2か年で更新するごみ処理施設の中央監視制御装置



令和5年度 各会計決算

皆さんが納めた税金はどのように配分され、どのように使われたか。令和5年度の各会計の決算は、9月19日の本会議で一般会計・特別会計・公営企業会計の決算を認定しました。一般会計の決算額の内訳は円グラフに、特別会計、公営企業会計は表にして紹介します。

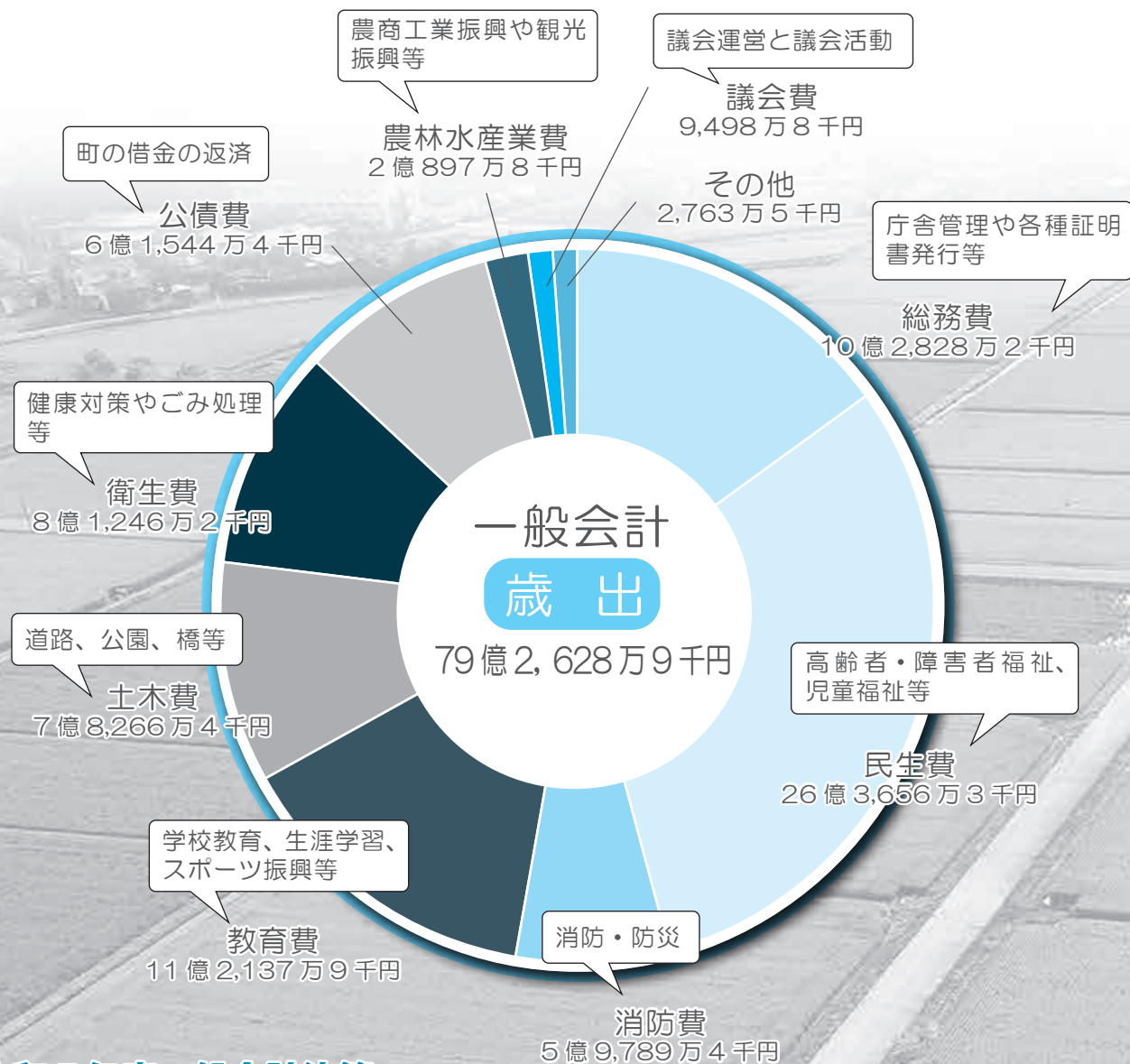


一般会計の決算		
歳入	84億5,681万4千円	
歳出	79億2,628万9千円	
差引額	5億3,052万5千円	

会計名		歳入決算額	歳出決算額	差引残額
特別会計	国民健康保険	25億1,184万8千円	24億6,597万円	4,587万8千円
	介護保険	19億5,346万6千円	18億9,982万円	5,364万6千円
	後期高齢者医療	3億238万円	3億57万4千円	180万6千円
企業会計	水道事業 収益的収支	4億3,912万6千円	4億4,022万5千円	▲110万円
	水道事業 資本的収支	9,849万2千円	3億1,613万6千円	▲2億1,764万4千円
	下水道事業 収益的収支	5億461万7千円	4億7,783万9千円	2,677万8千円
	下水道事業 資本的収支	1億8,731万5千円	3億3,498万6千円	▲1億4,767万1千円

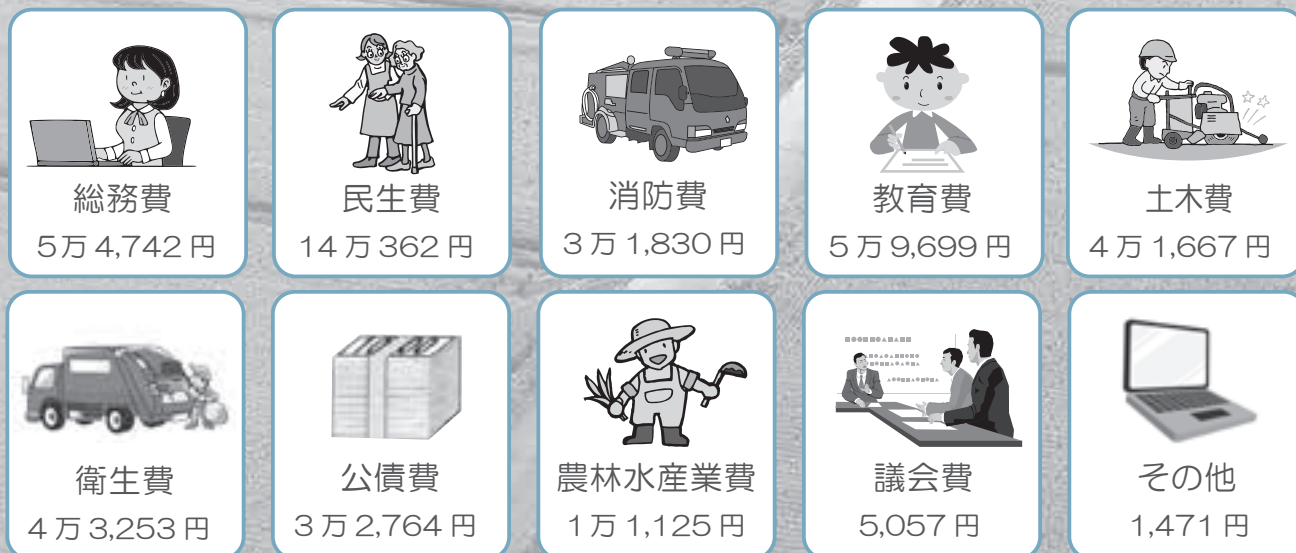
※企業会計の資本的収支の不足額は、損益勘定留保資金などで補てんしました。

町の財政は 健全ですか？



令和5年度一般会計決算 町民一人当たりの金額

※ 歳入・歳出それぞれ千円未満を四捨五入としているため、実際の額と異なる場合があります。



令和6年3月31日現在の人口 18,784人で算出

健全化判断比率・資金不足比率

<報告第4号>令和5年度川島町健全化判断比率について

<報告第5号>令和5年度川島町水道事業会計資金不足比率について

<報告第6号>令和5年度川島町下水道事業会計資金不足比率について

地方公共団体の財政状況を確認するための指標として、「健全化判断比率（4つの財務指標）」と公営企業会計の「資金不足比率」があります。令和5年度の決算に基づいて算定された健全化判断比率と資金不足比率は、監査委員の審査に付され、いずれの指標も町の財政状況が健全であると、報告がありました。

指 標	解 説	結 果
健全化判断比率		
実質赤字比率	一般会計等が赤字となった場合、その大きさを町の財政規模に対する割合で表したものの	— (黒字)
連結実質赤字比率	上下水道など公営企業も含めた町全体が赤字となった場合、その大きさを財政規模に対する割合で表したものの	— (黒字)
実質公債費比率	一般会計等の公債費や公営企業会計への繰出金などによる財政負担の程度を表すもの。25%以上だと健全化の取組が必要	4.1
将来負担比率	町の将来負担の程度を示すもの。令和5年度は、充当可能基金や基準財政需要額算定見込み額の減少により、町の将来負担が増加しました。350%以上だと健全化の取組が必要	1.9
資金不足比率	上下水道など公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模と比較して指標化したもの	— (不足なし)

■決算審査意見

令和5年度一般会計、各特別会計（国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療）及び公営企業会計（水道、下水道）の決算、基金運用状況、財政健全化・経営健全化について、監査委員によりそれぞれ審査が行われ、9月5日の定例会の本会議で意見が述べられました。

一般会計・特別会計

(留意・改善事項)

項 目	内 容
ふるさと納税推進事業	一般のふるさと納税、企業版ふるさと納税ともに、より一層のPR方法を検討してもらいたい。
税金の未納者対策	公平性の観点から、給与・預貯金・不動産等の滞納処分を適切に執行してもらいたい。
合併処理浄化槽未受検者対策	法定点検未受検者に対し、もっと強いアプローチをし、河川環境浄化の推進をってもらいたい。
一般社団法人さまちか	町からの支援が終了しても、安定的な経営ができるように努めてほしい。
健全財政との両立	今後も信頼性の高い行政サービスと健全財政との両立を図ってもらいたい。

公営企業会計

(留意・改善事項)

項 目	内 容
水道事業会計	「水道事業経営戦略」で検討した料金改定を含め、健全な経営状況への改善と安定的な水道水の供給に努めてほしい。
下水道事業会計	「下水道事業経営戦略」に基づき、繰入金に頼らない経営体質の改善と社会情勢を捉えた経営の安定に努めてほしい。



代表監査委員
大澤 晃



監査委員
小峯 松治

※詳しくは、町HPに掲載しています。



総務経済建設常任委員会

総務経済建設常任委員会（矢内秀憲委員長）は、9月9日（月）、10日（火）の2日間、議長から付託された8議案を審議しました。全ての議案を審議し、終了後、横塚川の護岸の状況を確認しました。主なものは、次のとおりです。

◆議案第51号 一般会計補正予算（第3号）

川島IC南側開発

問 現在の進捗状況と今後のスケジュールは。
答 現在は、国との農林調整の最終段階です。今後、県から産業誘導地区の選定を受け、その後、都市計画案の縦覧の手続を行います。なお、県の関係課と都市計画手続については、協議を進めています。

◆議案第56号 一般会計歳入歳出決算認定

学校跡地の管理

問 学校跡地の今後の利活用は。また、売却も検討しているのか。
答 現在は内部だけの検討となっています。学校跡地の利活用は、法的規制が厳しく、民間の工場などへの用途変更はできない状況です。全国的な課題でもあるので、規制緩和に向け県町村会等を通じて引き続き、要望していきます。

◆議案第56号 一般会計歳入歳出決算認定

かわみんタクシー

問 かわみんタクシーのコールセンターの対応について苦情の声があるが。
答 実際の応対や予約関係において、クレームが入っています。事業者が事情聴取を行い、利用者に迷惑、影響がからないように指導している状況です。また、地域公共交通会議でも、供給不足の対策として他の事業者の参入も検討してみてもといった意見が出ていました。

◆議案第56号 一般会計歳入歳出決算認定

古民家（旧菅間邸）

問 菅間一元歴史文化基金の使い方については。また、古民家の運用は。
答 基金は、5千万円の寄付金が原資です。基本的には施設の改修費に充て、残金は運営費に充てたいと考えています。また、執行は維持運用作業と維持管理業務になっています。地域に密着した古民家再生ができればと考えています。

◆議案第56号 一般会計歳入歳出決算認定

農業者支援事業

問 経営所得安定対策事業費補助金の内容は。
答 水稲以外の栽培農家に対して、国及び県から直接交付されます。決算額は、当該事業の事務局である農協への事務経費の補助金です。農家への補助は94名が申請し、国や県からの支払総額は、合計で2億5千万円強になります。

◆議案第60号 水道事業会計決算認定

PFAS（ピーファス）と水道水

問 町では井戸水（地下水）も利用しているが、水質の異常はないのか。
答 PFASは、発がん性が指摘される有機フッ素化合物の総称です。検査の結果、町の井戸水は国の暫定基準値以下で問題ありません。なお、県水も問題はないとの報告を受けており、町ホームページで公表しています。

横塚川の護岸の状況を確認

委員長のコメント

県が管理する横塚川は、出丸地区内を流れる荒川水系の一級河川です。また、流末には「横塚樋管」があり、入間川に放流される排水路として重要な役割を果たしています。委員会では、老朽化した護岸の損傷箇所を確認しました。議会でも、町長を会長とする安藤川・横塚川改修促進協議会を通じて、早期改修に向け、県に要望しています。



横塚川（出丸中郷地内）の損傷箇所を確認する

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会（加藤 進委員長）は、9月9日（月）、10日（火）の2日間、議長から付託された13議案を審議しました。全ての議案を審議し、終了後、つばさ小学校低学年棟建設の工事現場の確認と、学校給食の試食を行いました。主なものは、次のとおりです。

◆議案第44号 国民健康保険条例の一部改正

マイナカードと保険証の紐づけ

問 国民健康保険加入者数、マイナ保険証として紐づけが済んでいる人数、保険証の利用率は。
答 加入者数は、令和5年度末で4,368人。マイナンバーカードに保険証の紐づけが済んでいる方は、2,897人、利用率は13.6%です。

◆議案第51号 一般会計補正予算（第3号）

つばさ小学校低学年棟太陽光発電

問 つばさ小学校低学年棟太陽光発電設備設置工事費を全額減額する理由は。
答 この事業自体を政策推進課が引き継ぎ、令和7年度に実施していきます。低学年棟3棟に216枚のパネルを設置する予定です。教育に還元していけるよう事業者と連携しながら進めていきます。

◆議案第51号 一般会計補正予算（第3号）

購入図書を選定は

問 購入する図書を選定するのは誰か。ぜひ、日本を学び、誇りに思える図書を購入してほしい。
答 購入図書の選定は、図書館の司書の資格を有する職員が中心になって行っています。日本のことを知る、学ぶことは大事なことなので、より良い内容の図書を司書と選んでいきます。

◆議案第56号 一般会計歳入歳出決算認定

学童保育の電気料

問 学童保育の電気料金はどうしているのか。
答 学童保育がつばくらぶとつばさ北学童クラブは、町の施設の一部を使用していることから、使用した分の電気料を町へ支払っています。その他の学童保育は、独立した施設であるため、学童保育が個別に支払いをしています。

◆議案第56号 一般会計歳入歳出決算認定

シルバー人材センターの今後

問 シルバー人材センターに入会される方が少ないが、5年先、10年先をどう捉えているのか。新しい形のセンターを模索してほしい。
答 今後は、民間企業の力も借りながら、様々な工夫を行っていく必要があると考えます。今後のセンターのあり方について検討が必要であると考えます。

◆議案第56号 一般会計歳入歳出決算認定

学校給食費の無償化

問 全国には、学校給食費を無償化している自治体があるが、町はどのような方向で考えているのか。
答 今の段階では、現状を維持していくべきと考えています。町では、就学支援制度に該当する児童生徒を対象に支援しています。



施工業社から、工事の概要説明を聞く

委員長のコメント

令和7年度からスタートする小中一貫教育に併せて統合となる、つばさ小学校低学年棟の工事の進捗状況を、文教厚生常任委員会で確認しました。校舎は、軽量鉄骨造平屋建ての3棟で、屋根が三層になっており、暑さをしのげる構造で安心しました。校庭が狭くなるのではという心配もありましたが、影響は少ないものと考えます。

つばさ小学校低学年棟建設工事を確認

各 議 員 の 賛 否

※「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席を表しています。「―」は議長もしくは退席のため表決していません。

上程された議案	結 果	議 員 氏 名														道 祖 土 証
		井 上 智 恵	山 崎 宣 佳	坂 本 順 子	粕 谷 克 己	加 藤 進	渋谷 幸 司	矢 内 秀 憲	柴 田 一 典	小 峯 松 治	爲 水 順 二	森 田 敏 男	菊 地 敏 昭	小 高 春 雄		
専決処分の承認（議案第 43 号）																
専決処分の承認（令和 6 年度川島町一般会計補正予算（第 2 号））	承 認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
条例の一部改正（議案第 44 号）																
川島町国民健康保険条例の一部改正	可 決	○	○	○	○	○	×	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
条例の全部改正（議案第 45 ～ 48 号）																
川島町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例	可 決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
川島町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例	可 決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
川島町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例	可 決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
川島町指定介護予防支援事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例	可 決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
組合の設立・規約の改正（議案第 49・50 号）																
川島桶川資源循環組合の設立	可 決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
川越地区消防組合規約の一部改正	可 決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
令和 6 年度 補正予算（議案第 51 ～ 55 号）																
川島町一般会計補正予算（第 3 号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
川島町国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
川島町介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
川島町水道事業会計補正予算（第 1 号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
川島町下水道事業会計補正予算（第 1 号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
令和 5 年度 決算認定（議案第 56 ～ 61 号）																
川島町一般会計歳入歳出決算	認 定	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
川島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算	認 定	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
川島町介護保険特別会計歳入歳出決算	認 定	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
川島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認 定	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
川島町水道事業会計決算	認 定	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
川島町下水道事業会計決算	認 定	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
債権の放棄（議案第 62 号）																
債権の放棄	可 決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
財産の取得（議案第 63 ～ 67 号）																
財産の取得（追認）（令和 2 年度取得分）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
財産の取得（追認）（令和 2 年度取得分）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
財産の取得（追認）（令和 3 年度取得分）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
財産の取得（追認）（令和元年度取得分）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
財産の取得（追認）（令和 5 年度取得分）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
人事に関すること（議案第 68・69 号、諮問第 1 号）																
教育委員会教育長の任命	同 意	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
教育委員会委員の任命	同 意	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
人権擁護委員の推薦	承 認	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—

（※議員名は、議席順となっています）

●教育委員会教育長・教育委員会委員の任命、人権擁護委員の推薦

審議の結果、教育委員会教育長にせきぐちたかし関口敏氏を、教育委員会委員にやべはるみ矢部春美氏を任命することに同意しました。また、人権擁護委員におおのはるよ大野晴代氏を再度推薦することを承認しました。



町の考えを問う

9月17日、18日に町政一般質問が行われ、9人の議員が登壇しました。各議員の発言事項と、その概要は次のとおりです。

—おわび—

今回、機器のトラブルにより、一部の質問が録画できなかったため、二次元コードを付けておりません。ご了承ください。なお、町のホームページでは、録画配信をしています。



坂本 順子 議員

- 1 不登校児童生徒について
- 2 学校生活管理指導表について
- 3 学童保育「放課後児童クラブ」について

加藤 進 議員

- 1 町の防災について
- 2 町のスポーツの推進について

渋谷 幸司 議員

- 1 小中一貫教育と教職員の業務軽減について

山崎 宣佳 議員

- 1 小中学校でのタブレット活用とICT教育について
- 2 飯島一号雨水幹線の整備計画の進捗状況は

柴田 一典 議員

- 1 災害時における自主防災組織について
- 2 中学校における制服の扱いについて

菊地 敏昭 議員

- 1 町の広報・広聴について
- 2 町の上水道事業について
- 3 高齢化と住居と社会の無縁化について

井上 智恵 議員

- 1 農業振興について
- 2 通学路の安全対策及び危険箇所の整備について
- 3 コバトンALKOO（あるこう）マイレージ事業の普及について

粕谷 克己 議員

- 1 わが町の観光振興について
- 2 子供たちの教育環境について

矢内 秀憲 議員

- 1 町のSDGsへの取り組みについて
- 2 遊休農地の解消対策について

※一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。

問

不登校児童の町としての支援は

答

本人に寄り添った支援をしています

問 不登校児童生徒への具体的な支援とは。

答 ① 月7日以上欠席しているような不登校傾向にある児童生徒への対策として、さわやか相談室等への別室登校により、登校や相談がしやすいように支援しています。

② ほとんど登校できない児童生徒には、まなびのサポートセンタ―、しらさぎ教室への通室を支援しています。

③ 登校も、しらさぎ教室への通室も難しい児童生徒への支援として、10月から、仮想空間の中に教室や相談室を作り、そこに通室して共同学習を行う「教育メタバース」で学習支援します。

問 不登校児童生徒の健康診断は。

答 全ての健診日を事前に保護者へ周知し、就学校で受診できない場合は他の学校でも受診できるようにします。また、他の児童生徒と受診時間や受診場所を分けるなど、各学校の養護教諭からなる養護部会において検討します。



登下校風景



坂本 順子 議員

問 学校生活管理指導表は、毎年、提出しなければいけないのか。

答 発行料金がかかることから、医師から今後の安全配慮が必要ないとの判断がされた場合、管理指導表に代わる任意の書類の提出で代替することができるとか、養護部会と教育委員会で、保護者の負担軽減が図れるよう、慎重に、また前向きに検討させていただきます。

問 学童保育どおりむくらぶの部屋を増やすことはできるか。

答 要望がございましたら、空き教室が用意できるよう、学校と協議し、対応したいと考えています。

問

若者に人気があるフットサルコート
を建設できないか

答

ニーズを把握し、費用対効果も
含めて検討していきます



加藤 進 議員

問 今年度の水防訓練は、町職員、消防署、水防団で行っていたが、1年に一度の各地区での訓練なので、自主防災組織や水防協議会委員にも参加をしてもらい、訓練をしたほうが良いと考える。また、防災訓練も、小・中学生の参加を促せないか。いち早く役場職員と気が付くように、作業服と帽子を見やすくできないか。また、今年の防災訓練を11月10日に変更した理由は、

答 自主防災組織の皆さんには、町外広域避難訓練に参加をしていただいております。水防協議会委員にもお声がけをしています。防災訓練の日程変更は、暑さ対策により11月に変更しました。小・中学生には、防災意識を持ってもらえようように参加を促していきたいと思っております。職員とわかる方法として、防災ベストを着用するなどを考えております。

問 若者に人気のあるスケートボードやボルダリング、ダンス、フットサルなどができる場所やスペースを設けられないか。



屋内型のフットサルコート

また、優秀なプロゴルファーの岩井ツインズや、女子ソフトボール日本代表監督をされた宇津木妙子さんなどがあるので、パターゴルフができる公園や女子ソフトボール実業団観戦ツアーなどが開催できないか。

答 各競技の専用施設の整備は、ニーズの把握と、費用対効果も含めて検討します。簡易なパターゴルフができるようスポーツチャレンジに取り込むとともに、体験型ツアーも前向きに検討していきます。

問

川島中学校周辺の水路が危険ではないか

答

注意喚起の看板設置など、安全
対策を講じてまいります



渋谷 幸司 議員

問 小中一貫教育が始まる川島中学校周辺には、水路がたくさんあるので、フェンスなどの転落防止対策が必要ではないか。また、小中一貫教育の具体的な取組は。9年間の系統的な一貫教育へと「新しい教育システム」が始まる中で、伊草小学校の分散進学を見直す考えは。町の不登校の現状と対策は。

答 水路の転落防止対策として、ふたがけやフェンスの設置は必要ないと判断しています。しかし、安全対策として、注意喚起の看板やポストコーンの設置、安全指導を徹底してまいります。小中一貫教育では、中学校の教員が専門性を生かして音楽・美術で乗入れ授業を行い、縦割り活動やオンラインでの交流にも取り組めます。伊草小学校の分散進学は現在のところ、通学区の再編成が必要であるとは考えておりません。令和5年度の不登校児童生徒は、年々増えて43名です。西中学校では「不登校対策プロジェクトチーム」を立ち上げました。今後も多角的に



川島中西側の転落防止用柵がなくて危険な水路

支援していきます。

問 教職員の長時間労働は大きな社会問題である。町の教職員の長時間労働の実態はどうか。また、業務に対する軽減対策は何か。

答 超過勤務の状況は、小学校でひと月あたり45時間以上が45%、中学校は26%です。長時間労働は健康に深刻な影響を与えるので、業務支援員や生徒指導員の配置、部活動の外部指導員等の活用や、校務支援システムの導入などで効率化を図っています。また、小学校においては、正規職員の割合を高めています。

ICT教育の成果と課題は

学習意欲の向上が見られた一方で情報活用能力の育成が必要

答



山崎 宣佳 議員

問 ICT教育において学校間の格差を感じるか。

答 学校訪問や授業参観を通じて、格差を感じることがあります。特に、「個別的な学び」や「協働的な学び」に発展させているかを見ると、学校間や先生ごとの取組には差があると感じます。

問 ICT教育において教職員のスキルアップと負担軽減策は。

答 ICT機器を効果的に活用する方法を学び、学校全体で組織的に取り組んでいます。教員同士が相互に学び合うことでスキルアップを図り、さらに、ICTに詳しい管理職が研修を通じて支援しています。

問 川島町が目指すICT教育について取組と将来像は。

答 ICTを活用し生徒自らの考えを深め成長につなげていくことを目指します。町内の小中学校が一体感のある教育を推進します。

問 タブレット端末の更新計画は。

答 埼玉県が主導する共同調達会議に参加しています。国の基準を



児童生徒に一人一台支給されているタブレット端末

満たした端末を選定し、令和8年3月までに更新を行う予定です。現在使用中のタブレットについては予備機を確保しているため、バッテリー劣化にも対応可能で、更新までの残り1年以上の期間も運用できる見込みです。

問 飯島一号雨水幹線整備と道路冠水解消の考えは。

答 飯島一号雨水幹線は、中山地区の内水を排水し内水氾濫を防止低減する重要な路線です。道路冠水箇所の手やかな調査と早急な整備を指示しました。町民の皆さんの不安解消と安心確保を進めます。

地域の負担を考慮した自主防災組織に

十分配慮してまいります

答



柴田 一典 議員

問 一部の自治会では、自治会長以外の人を中心に活動を行っているようだが、ほとんどの自治会では自治会長を中心に活動している。

ここの3、4年のコロナ禍の影響もあり、自主防災組織としての活動が薄れている現状がある。一方、自治会そのものも負担を強く感じる人たちが現れ、班単位で脱会するような現状もある。

そこで、自主防災組織の最低限の活動を示し、それ以外の活動については、やる、やらないも含め、自治会に任せることも一つの方法ではないかと思うが、町の考えは。

答 自治会活動の負担を減らすことや、無理のない自主防災組織活動については、ご指摘のとおりだと思えます。それらを考慮しながら、どんなふうに進めていけばよいか、検討してまいります。

問 川島中学校の新生入生が、通学時や授業において、制服の受け止め方を学生服とセーラー服という認識を持って、4月、5月過ぎしていた。「T・P・Oにに応じた服装



災害時避難行動要支援者台帳

の基本約束」の中に出てくる制服とは、ポロシャツや半そでシャツも含むとの学校の解釈であり、生徒や保護者の解釈とは大きな違いがあった。この表記には、非常に分かりにくいところがあり、改めての説明や表記の改善など、PTAの意見なども聞きながら対応してもらえないか。

答 PTAや生徒会などの意見も取り入れながら、生徒がより過しやすい学校を目指してまいります。

問

町の上水道事業経営は

答

大変に厳しい状況です



菊地 敏昭 議員

問 水はあらゆる生命の源であり生活に欠かすことのできない貴重な資源である。この水の大切さや、水の果たす役割などを改めて考えてもらうために、昭和52年から毎年8月1日を「水の日」と定め7日間を「水の週間」と政府が定めたところ。町では、2か月に1回メーターを検針し、検針票を各家庭のポスト等に投函している。水道使用料金の検針票の説明文を広報紙に掲載できないか。

答 現在、上下水道事業審議会では上下水道使用料金等の改定について審議が行われており、使用者の皆様には改訂の説明が必要ですので広報紙等を活用し、料金の計算方法を丁寧に説明してまいります。

問 町水道事業の現状は。

答 令和元年度から5年連続赤字で、大変厳しい状況です。安全安心な水を安定的に供給するために、将来を見据えた施設・設備の更新が必要であり、令和6年から25年までに約45億円の投資が必要という試算があります。



改修が望まれる水道施設

問 高齢化と住居と社会の無縁化は。

答 単身高齢者の増加と少子化による小学校の統廃合、公民館の廃止、免許証の返納等によって高齢の方の行動範囲も狭くなります。コロナ禍で薄れた、顔の見える関係の再構築のために、多面的に支援してまいります。

問 八幡団地の今後の見通しは。

答 現行の地区計画では、生垣等を管理する負担が大きいとも伺っており、高齢の方でも住みやすい環境づくりが重要と考えます。ご意見を伺いながら計画の見直しについても検討するとともに、空き家の発生も抑制します。

問

農業振興について町の考えは

答

支援制度の活用及び拡充等、全力を注いでまいります



井上 智恵 議員

問 今や、農業は高齢化が進み、一人で行うには多大な費用と期間、労力が必要である。機械の共同購入や共同利用、共同草刈り等を行い、みんなで助け合いながら、AI技術等を活用した持続可能な農業ができればと思うが、町の考えは。

答 機械の共同購入や共同利用は、管理や利用の調整が難しいと考えられます。農作業の共同化は、実際に町で法人化しているグループがあり、各地域に広がっていく可能性は高いと考えます。また、「農業イノベーション応援事業」は、好評を得ており、延長ができればと思っています。これから、できる限りのことはしていきたいと考えています。

問 川島町では、令和5年に人身事故が85件発生し、中学生が大きな怪我を負う事故もあった。通学路の安全対策の見直しは。

答 危険箇所を改善していけるよう関係機関に働きかけるとともに、児童や生徒が安心して登下校できるように、通学路の安全対策の見直しは。



川島のおいしい農産物を届けるため頑張っている農家さん

問 コバトンALKO（あるこ）マイレージ事業の普及は。

答 広報かわじまに掲載のほか、定期的にアプリの登録会を行います。アプリの機能として、貯めたポイントで、景品が当たる抽選や、消費カロリーや移動距離の計測、また「日陰・日向ルート」の選択も可能となっています。一人でも多くの方が参加できるよう、引き続き事業の周知や登録会等を実施してまいります。

問 中学生の社会体験チャレンジ事業を再開できないか

答 コロナ禍で休止していましたが、事業の再開を検討しております



粕谷 克己 議員

問 中学校の「制服リユース」実現を

答 早期での、まずは試行実施を目指します



矢内 秀憲 議員

問 社会体験チャレンジ事業は、生徒のインターンシップ（就業体験）にもなり、将来の就労の機会につながる取組と考えるが。

答 地元の企業のことを知り、将来の就職にまで結びつけば、転出を抑制し定住促進にも寄与できるのではないかと考えます。コロナ禍で休止していましたが、事業の再開を検討しております。

問 長い夏休み期間中にオンライン登校ができないか。

答 小学生は約40日間学校から遠ざかっております。夏休み中に「オンライン登校日」を設け、子供たちの顔を見ながら、健康状態の確認や2学期に向けての話や悩み、宿題の進捗状況などの相談等を実施することは有効であると感じております。

問 今後、校長会と相談しながら前向きに検討してまいります。

答 多くの自治体では観光協会を設立し、組織的に観光振興を図っているが、町の考えは。

答 町への来訪者数を伸ばすため

に、地域の特産品を用いての商品開発などとともに、当町にない観光協会の一面も「さまちか」で担っていくよう、関係機関と連携し、観光振興に努めてまいります。

問 地域商社さまちかを今後どのような形で補強し、観光に当たっていくのか。

答 さまちかへの支援は3年が限度だと約束しております。今後、議会とも相談をし、一つの方向性を出していきたいと考えております。



タブレット端末による授業の様子
(中山小学校)

問 現在は、中学校を卒業すると同時に、制服の処分は個人で廃棄や譲渡をしている。そこで、町が無償で引き取り、欲しい保護者に無償で提供する「制服リユース」は、SDGsの目標12の「つくる責任 つかう責任」や、経済的負担の解消そのものでもあり、中学生の保護者に喜ばれると思うが、町の考えは。

答 当町では、いわゆる「制服リユース」事業は行っておりませんが、ごみの減量やリユース事業推進の観点から、新たな取組として非常に参考になる事業であると認識しました。できるだけ、川島町に適した仕組みを構築し、今後において前向きに考えます。

問 中学生や保護者による「ゆずりたい」という気持ちを大切にすると、現在の環境センター内のコーナー等を利用して、試験的でも良いので、まずは試行実施をしてはどうか。

答 早期の試行を目指します。実施方法や実施場所、管理方法など

の課題に取り組みながら、先進自治体の事例を参考に取組んでまいります。

問 令和15年稼働開始予定とされた、新ごみ処理施設（川島桶川資源循環組合）では、ぜひ「循環型制服」の取組を考えていただきたい。この取組は、制服をハサミで解体し、布から綿、綿から糸、糸から布に、布から制服にという製造過程を学べることで、また、卒業生からの制服を受け継ぐという意識も生まれる。町の考えは。

答 循環型制服の仕組みについては、リサイクル社会の実現に向けて意義のある取組と考えます。



川島中学校、西中学校の伝統ある制服

総務経済建設常任委員会所管事務調査

令和6年7月4日（木）・5日（金）

- ・空き家対策について（魚沼市）
- ・滞在型農園について（おぢやクラインガルテンふれあいの里）（小千谷市）

空き家対策について（魚沼市）

魚沼市は、若年層の流出が止まらない状況から、住みやすさ日本一を目指して全庁的に取り組んでいます。令和4年時点で空き家が361件あり、その内管理されていない空き家が70件あります。豪雪地ならではの問題として、落雪事故や雪の重みによる倒壊等の恐れなどもあります。空き家バンク登録制度は、37件が登録されています。各種支援制度を設けたことで、売買件数が若干増加していると思われます。

市では、特定空家等の認定を今まで5件行っています。

また、魚沼市空家等対策協議会が令和4年度に設置され、空き家解体補助金制度が、令和5年度に制定されました。当初の予算では足りずに補正を組んで対応しています。

滞在型農園について（おぢやクラインガルテンふれあいの里）（小千谷市）

おぢやクラインガルテンふれあいの里は、平成19年4月に国の補助事業により整備され、滞在型農園15区画で開設されました。



魚沼市の移住定住ガイドブック

所管事務調査を終えて

川島町でも、空き家対策をさらに検討し、町民の安全・安心の確保につなげていかなければならないと感じました。引き続き、調査研究が必要と考えます。

現在、滞在型農園の入居者は25組で、コロナ禍以後は、リモートワークをする若い世代が増えています。また、管理の一部をおぢやクラインガルテンふれあいの里管理組合へ委託し、市が1,000万円程度の委託料を支払っています。施設修繕は、年間、数百万円を支出しています。クラインガルテンを利用した方で、移住につながった人数は、今までで合計12名、小千谷市内が6名、新潟県内の他の自治体が6名となっています。

文教厚生常任委員会所管事務調査

令和6年7月11日（木）・12日（金）

- ・子育て支援について（日立市）
- ・公民館の地域運営（地域交流センターへ移行）について（筑西市）

子育て支援について（日立市）

人口減少が進んでいる日立市では、令和5年にベビーファースト運動活動宣言を行い、各ライフステージに応じた支援に取り組んでいます。

また、18歳までの医療費やヘルパー派遣料、第2子以降の保育料、ランドセル・スクールカバン、小中学生の学校給食費、市の14施設の利用が、全て無料という市独自の支援に取り組んでいます。その他にも、お誕生おめでとう事業や通学定期券購入額3割補助、奨学金返済支援事業などにも取り組んでいます。

公民館の地域運営（地域交流センターへ移行）について（筑西市）

筑西市も人口減少が進んでいます。中でも公民館は「地区公民館の在り方及び運営方法についての検討」が必要になり、様々な検討を経て、「筑西市コミュニティセンターの設置及び管理並びに地域集会施設との連携に関する条例」を制定し、令和6年度から運用が開始されました。

市では、公民館の建物はそのまま、コミュニティセンターに移行し、営利行為や飲食もできるようにしました。

また、「地域集会施設と連携の仕組み」をつくり、市から自治会へ助成金が支払われる仕組みになっていました。

所管事務調査を終えて

子育て支援では、町独自の取組として、ランドセル・通学用自転車購入費定額補助事業も検討する必要がありますと感じました。また、町でも、公民館施設の維持管理が困難になっています。地域の課題解決に取り組むためには「公民館」から「地域活動センター」への移行、そして、「地域集会施設との連携」の仕組みが大変重要だと感じました。



日立市独自の6つの子育て無料支援策を展開

第3回 川越地区消防組合議会臨時会

令和6年6月28日 会期1日間

爲水 順二
小峯 松治
矢内 秀憲

第2回 比企広域市町村圏組合議会定例会

令和6年8月7日 会期1日間

道祖土 証
加藤 進

議案第5号 新消防指令センター整備工事請負契約について

契約額 14億9,776万円

契約先 三峰無線株式会社北関東支店

工期 令和8年3月24日まで

議案第6号 川越地区消防局・川越北消防署雨水貯留槽設置工事請負契約について

契約額 3億4,084万7,100円

契約先 株式会社中里組

工期 令和7年7月25日まで

議案第7号 消防ポンプ自動車の取得について

川越中央消防署高階分署消防ポンプ自動車の更新

取得額 7,029万円（税込み）

契約先 株式会社サイボウ

議案第8号 消防ポンプ自動車の取得について

川越市消防団南古谷分団消防ポンプ自動車の更新

取得額 2,805万円（税込み）

契約先 埼玉消防機械株式会社西部営業所

議案第9号 消防ポンプ自動車の取得について

川島町消防団第4分団消防ポンプ自動車の更新

取得額 2,827万円（税込み）

契約先 株式会社サイボウ

議案第10号 高規格救急自動車の取得について

川越中央消防署及び川越西消防署救急車の更新

取得額 4,125万円（税込み・2台）

契約先 埼玉トヨタ自動車株式会社川越店

議案第11号 高度救命処置用資機材の取得について

高度救命処置用資機材2台分の購入

取得額 2,442万円

契約先 埼玉トヨタ自動車株式会社川越店

全議案とも全員賛成で原案可決されました。

（小峯）



川越地区消防局・川越北消防署 完成予想図

報告第1号 消防特別会計 事故繰越繰越計算書について

議案第13号 専決処分について

小川町消防団第1分団第3部車両の交通事故による和解及び損害賠償額の決定について

議案第14号 比企広域市町村圏組合会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定について

議案第15号 令和6年度比企広域市町村圏組合一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれに455万6千円を追加し、7,705万6千円とするもの。

議案第16号 令和6年度比企広域市町村圏組合消防特別会計補正予算（第1号）省略

議案第17号 令和6年度比企広域市町村圏組合斎場及び霊きゅう自動車事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれに2,291万8千円を追加し、2億3,291万8千円とするもの。

議案第18号 令和6年度比企広域市町村圏組合介護認定及び障害支援区分審査会特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれに553万6千円を追加し、7,553万6千円とするもの。

議案第19号 令和6年度比企広域市町村圏組合特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれに5万6千円を追加し、85万6千円とするものです。

議案第20号 令和5年度比企広域市町村圏組合一般会計歳入歳出決算について

収入済額 7,090万6,662円

支出済額 6,384万1,186円

議案第21号 令和5年度比企広域市町村圏組合消防特別会計歳入歳出決算について 省略

議案第22号 令和5年度比企広域市町村圏組合斎場及び霊きゅう自動車事業特別会計歳入歳出決算について

収入済額 2億5,539万7,086円

支出済額 2億2,320万3,527円

議案第23号 令和5年度比企広域市町村圏組合介護認定及び障害支援区分審査会特別会計歳入歳出決算について

収入済額 7,408万9,128円

支出済額 6,255万6,239円

議案第24号 令和5年度比企広域市町村圏組合特別会計歳入歳出決算について

収入済額 140万3,953円

支出済額 109万9,838円

全議案とも原案どおり可決・認定されました。

（加藤）

比企広域市町村圏組合とは？

比企広域市町村圏組合は、昭和48年（1973年）に設立された一部事務組合で、東松山市と滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、ときがわ町、東秩父村の8市町村で組織されています。組合では、消防業務（川島町は川越市と一部事務組合を構成しています）のほか、斎場運営、介護認定・障害支援区分の審査、公平委員会業務を行っています。川島町からは、副管理者1人（町長）と組合議会議員2人（道祖土、加藤）を選出しています。

川島町議会活動レポート

長瀬町議会が行政視察で来町



▲長瀬町議会が当町の取組を視察しました

7月31日、埼玉県長瀬町議会総務教育常任委員会（議員5人、事務局1人）が川島町を訪れ、「川島町の小中一貫教育」の取組について視察しました。当日は、当町の教育委員会職員が説明をしました。

吉見町・川島町議会議員合同研修会

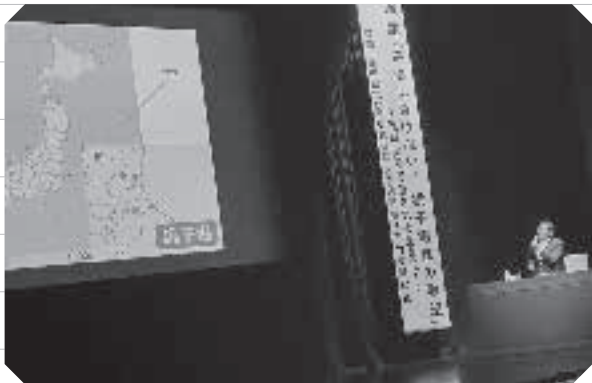


▲両町の議員が熱心に耳を傾けていました

8月21日、川島町役場を会場にして、吉見町・川島町議会議員合同研修会が開催されました。

当日は、両町の議員25人が出席し、不動産鑑定士の山口和範氏と、金沢駅の鼓門などを設計した建築士の白江龍三氏から講演していただきました。

埼玉県町村議会議員研修会



▲涙あり、笑いありと感動的な講演でした

10月2日、埼玉県町村議会議長会主催による、町村議会議員研修会が吉見町民会館「フレサよしみ」で開催されました。当日は、銚子電鉄株式会社代表取締役の竹本勝紀氏から「逆境に負けない！銚子電鉄の取組」～地域密着で愛される企業に～の演題で講演がありました。

ごみ処理施設整備特別委員会視察



▲先進地の「エコパークしおや」を視察

10月10日・11日の2日間で、町議会ごみ処理施設整備特別委員会（小高春雄委員長）による視察を行いました。初日は、福島県須賀川市の「須賀川地方衛生センター」を、2日目は栃木県矢板市の「エコパークしおや」を視察しました。

議会日誌

7月

- 1日 議会報編集委員会
- 4日・5日 総務経済建設常任委員会所管事務調査
- 8日 議会報編集委員会
- 11日・12日 文教厚生常任委員会所管事務調査
- 23日 ごみ処理施設整備特別委員会
- 26日 文教厚生常任委員会協議会
- 31日 埼玉県長瀬町議会視察受入れ

8月

- 8日 総務経済建設常任委員会協議会
- 9日 文教厚生常任委員会協議会
- 21日 吉見町・川島町議会議員合同研修会
- 28日 議会運営委員会
議会全員協議会
- 30日 文教厚生常任委員会協議会

9月

- 4日～19日 9月定例会
- 5日 地方創生・行財政特別委員会
- 6日 議会報編集委員会
議会運営委員会協議会
- 19日 議会運営委員会
議会全員協議会

12月の定例会予定

議案審議

一般質問

11/28(木)～12/6(金) 12/4(水)～12/6(金)
12月定例会は11/28～12/6の予定です。

相談役 委員 副委員長 委員長
道井山坂粕洪柴
祖上崎本谷谷田
土智宣順克幸一
証恵佳子己司典

議会報編集委員会

議会を
『見学して』みよう
定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回、開催します。会議の様子をご覧になりたい方は、会議開催日の朝に、川島町役場2階議会事務局窓口までお越しください。

議会だよりを
『読んで』みよう
『かわじま議会だより』は、毎年、2月、5月、8月、11月の年4回、発行しています。皆さんの生活に関わる議会活動をj知る機会にしてください。

議会を
『動画で見て』みよう
議場で行われる本会議の様子をインターネットで録画配信しています。また、本会議開催中は、庁舎1階にあるテレビで生中継をしています。

議会に
『参加して』みよう
議会に対して陳情などを提出することができます。陳情は、特定の事項について実情を訴え、善処してもらうよう要請することです。どなたでもすることが出来ます。

表紙解説
町の健康長寿のまちづくり推進事業の一つ、「ハッピー体操」は、音楽に合わせて楽しみながらできる介護予防の体操です。ストレッチと筋トレの組合せで、全身をバランスよく鍛えられます。サポーターが優しく、わかりやすく教えます。名前のとおり、参加されている皆さんは元氣よく、楽しく通っています。中には90代の方も、お元氣で活動されております。体操に参加すると「かわべえ健康マイレージ」ポイントが獲得でき、ポイント数に応じて賞品と交換することが出来ます。好評につき、今年もポイント3倍キャンペーン(12月31日)を行っています。ぜひ、この機会に、みんなで楽しく体を動かして、健康な心身を持しましょう。(写真・文章/井上)

編集後記
お忙しい中、9月議会の傍聴に足をお運びいただき、誠にありがとうございます。議員にとって、一般質問は自分の主義主張を町の執行部にぶつける真剣勝負の場であり、町民の皆様は議員としての姿勢をご覧いただく貴重な機会です。私自身、議会傍聴に来ていただいた方が「議員の人格がわかった」「また見に来たい」と感じていただけるような一般質問を目指して取り組んでおります。各議員が時間をかけて準備した一般質問です。皆様のご意見やご感想を議会事務局までお寄せいただけると大変励みになります。平日お時間の取れない方には録画配信も行っておりますので、ぜひ、ご利用ください。(山崎)